【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【公開番号】特開2006-4651(P2006-4651A)
【公開日】平成18年1月5日(2006.1.5)
【年通号数】公開・登録公報2006-001
【出願番号】特願2004-176864(P2004-176864)
【国際特許分類】
Ｆ２１Ｖ　8/00　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/13357　(2006.01)
Ｆ２１Ｙ 103/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２１Ｖ　8/00　６０１Ｃ
Ｆ２１Ｖ　8/00　６０１Ａ
Ｆ２１Ｖ　8/00　６０１Ｂ
Ｇ０２Ｆ　1/13357
Ｆ２１Ｙ 103:00

【手続補正書】
【提出日】平成19年6月4日(2007.6.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
光源と、
前記光源から放射された放射光が入射する入射面、入射面から入射した入射光が出射する互いに対向した第1主面及び第２主面を備えた導光体と、
前記導光体の第２主面側に配置され、第２主面と対向する側に鏡面を有した光学シートと、
前記導光体と前記光学シートとの間に配置され、光透過性を有し且つその表面に凹凸形状を有するフィルム体と、
を備え、前記光学シートは、鏡面側に前記フィルム体の凹凸形状とは異なるサイズの凹凸形状を有し、且つ、前記フィルム体の凹凸形状は、前記光学シートの凹凸形状よりも大きいことを特徴とする面光源装置。
【請求項２】
前記フィルム体の凹凸形状は、アクリル系またはシリコン系の球状体によって形成されていることを特徴とする請求項１に記載の面光源装置。
【請求項３】
前記光学シートに接触する前記フィルム体の表面硬度は、前記光学シートの鏡面の硬度と同等以下であることを特徴とする請求項１に記載の面光源装置。
【請求項４】
複数の表示画素が配置された有効表示部を備えた液晶表示パネルと、
前記液晶表示パネルを照明する面光源装置と、を備えた液晶表示装置であって、
前記面光源装置は、光源と、
前記光源から放射された放射光が入射する入射面、入射面から入射した入射光を前記液晶表示パネルに向けて出射する第１主面及び第１主面と互いに対向した第２主面を備えた

導光体と、
前記導光体の第２主面側に配置され、第２主面と対向する側に鏡面を有した光学シートと、
前記導光体と前記光学シートとの間に配置され、光透過性を有し且つその表面に凹凸形状を有するフィルム体と、
を備え、前記光学シートは、鏡面側に前記フィルム体の凹凸形状とは異なるサイズの凹凸形状を有し、且つ、前記フィルム体の凹凸形状は、前記光学シートの凹凸形状よりも大きいことを特徴とする液晶表示装置。
【請求項５】
前記フィルム体の凹凸形状は、アクリル系またはシリコン系の球状体によって形成されていることを特徴とする請求項４に記載の液晶表示装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
この発明の第１の態様による面光源装置は、
光源と、
前記光源から放射された放射光が入射する入射面、入射面から入射した入射光が出射する互いに対向した第1主面及び第２主面を備えた導光体と、
前記導光体の第２主面側に配置され、第２主面と対向する側に鏡面を有した光学シートと、
前記導光体と前記光学シートとの間に配置され、光透過性を有し且つその表面に凹凸形状を有するフィルム体と、
を備え、前記光学シートは、鏡面側に前記フィルム体の凹凸形状とは異なるサイズの凹凸形状を有し、且つ、前記フィルム体の凹凸形状は、前記光学シートの凹凸形状よりも大きいことを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
この発明の第２の態様による液晶表示装置は、
複数の表示画素が配置された有効表示部を備えた液晶表示パネルと、
前記液晶表示パネルを照明する面光源装置と、を備えた液晶表示装置であって、
前記面光源装置は、光源と、
前記光源から放射された放射光が入射する入射面、入射面から入射した入射光を前記液晶表示パネルに向けて出射する第１主面及び第１主面と互いに対向した第２主面を備えた導光体と、
前記導光体の第２主面側に配置され、第２主面と対向する側に鏡面を有した光学シートと、
前記導光体と前記光学シートとの間に配置され、光透過性を有し且つその表面に凹凸形状を有するフィルム体と、
を備え、前記光学シートは、鏡面側に前記フィルム体の凹凸形状とは異なるサイズの凹凸形状を有し、且つ、前記フィルム体の凹凸形状は、前記光学シートの凹凸形状よりも大きいことを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
さらに、この導光体２６は、光透過性を有するアクリル系樹脂やポリカーボネート系樹脂などにより形成されている。ここでは、導光体２６は、第１側面２６ａから第２側面（非光入射面）２６ｅに向かって厚さが徐々に薄くなるような楔形に形成されている。ここで、導光体２６の厚さとは、第１主面２６ｂの法線方向に沿った高さに相当する。このような形状により、導光体２６の第１側面２６ａから入射した光を第１主面２６ｂに向けて均等に反射させるとともに、導光体２６の第２側面２６ｅ側に位置する第２主面２６ｄ側にドライバ回路５などの収容スペースを確保する。